

# 最終処分の基本方針改定後の 理解活動の状況

平成27年9月  
資源エネルギー庁

(注)P2、3についてはNUMO作成

# 自治体連絡会(説明会)の開催結果概要

## (1)開催の目的

- 基本方針の改定の経緯や考え方等について、一般の国民(住民)向けの情報提供とあわせて、全国の自治体の方にも情報提供を緊密に行うことを目的に開催。

## (2)説明内容

- 地層処分事業の概要を始め、基本方針の改定の経緯や考え方、今後の取組について説明。説明資料は全国シンポジウムにおける資源エネルギー庁及びNUMOの説明内容と同じ(資料は公表済)。自治体の参加・発言を得やすいよう、非公開で開催。

## (3)開催の状況

- 46都道府県で開催。
- 連絡会には、平均して6割強の市町村が参加。

### <連絡会の開催実績>

| 日程      | 都道府県         | 日程      | 都道府県     | 日程      | 都道府県     |
|---------|--------------|---------|----------|---------|----------|
| 5/25(月) | 大阪府、神奈川県、兵庫県 | 6/9(火)  | 宮崎県、鹿児島県 | 6/25(木) | 高知県、和歌山県 |
| 5/26(火) | 奈良県、京都府、埼玉県  | 6/10(水) | 熊本県      | 6/26(金) | 福井県      |
| 5/27(水) | 滋賀県、東京都      | 6/11(木) | 山形県      | 6/29(月) | 長野県      |
| 5/28(木) | 東京都          | 6/12(金) | 新潟県      | 6/30(火) | 富山県、山梨県  |
| 5/29(金) | 佐賀県          | 6/16(火) | 静岡県      | 7/10(金) | 青森県      |
| 6/1(月)  | 山口県、北海道      | 6/17(水) | 岐阜県      | 7/13(月) | 茨城県      |
| 6/2(火)  | 北海道、広島県、岡山県  | 6/18(木) | 愛知県      | 7/14(火) | 群馬県      |
| 6/3(水)  | 鳥取県、島根県、秋田県  | 6/19(金) | 三重県      | 7/15(水) | 沖縄県      |
| 6/4(木)  | 岩手県          | 6/22(月) | 徳島県、福岡県  | 7/17(金) | 栃木県      |
| 6/5(金)  | 宮城県          | 6/23(火) | 香川県、長崎県  | 7/23(木) | 石川県      |
| 6/8(月)  | 大分県          | 6/24(水) | 愛媛県      | 7/27(月) | 千葉県      |

# 今夏のNUMOによる理解活動の概要

○NUMOでは、7～8月にかけて、「若年層の関心喚起・参加拡大」に向け、以下の取組を実施。

○また、地域の勉強会に対する支援を強化するため、これまでの支援スキームを変更(8/12から新スキームで募集開始)。

具体的には、年間を通じた募集や募集团体数の拡大、カフェテリア方式による支援メニューの提示等を実施(次ページ参照)。

## 「若年層の関心喚起・参加拡大」に向けた取組

### ■出前授業(地層処分アカデミー)

1. 教育関係者との意見交換 (7/30) (参加者) 8名  
・中学校の理科教育の中で地層処分問題を取り上げようと研究している先生方と情報交換を実施。  
「処分問題を通して考える力を育みたい」「社会的課題を考えていく教育が重要」等の意見があった。
2. 大学生との意見交換 (8/4) (参加者) 14名  
・地層処分に興味を持つ学生と意見交換を実施。「海外の先行事例との違いは何か」「地層処分は安全なのか」等の活発な質疑応答があった。



### ■教育関係者を対象とした施設見学会(幌延、瑞浪)

1. 日本原子力研究開発機構 幌延深地層研究センター(8/25, 26) (参加者)8名
2. 日本原子力研究開発機構 瑞浪超深地層研究所 (8/31) (参加者)9名  
・参加した先生方からは、「改めて地層処分問題を次世代に伝えたい」「地層処分の技術的信頼性について正しく理解することが重要」等の感想があった。



### ■全国の科学館等でのファミリー向けイベント開催(セミナーや地層処分キャラバンカーの展示)

- |                                     |                             |
|-------------------------------------|-----------------------------|
| 1. 大阪科学技術館(7/25, 26)                | 5. 日本エネルギー環境教育学会全国大会(8/8,9) |
| 2. 日本科学未来館(7/25) (JAEAとの共催)         | 6. 秋田自然科学学習館(8/19, 20)      |
| 3. 経済産業省子どもデー「すすめ、地底探検隊！」(7/29, 30) | 7. 名古屋シートレインランド(8/26, 27)   |
| 4. 石川県根上学習センター(8/2)                 | 8. つくばエキスポセンター(8/29, 30)    |

・8箇所(14日間)で約1,800名の参加者。移動展示車での参加者数が1日当たり約130人(昨年比140%)と大幅に増加。  
・子供たちやその保護者には、ベントナイト実験等の体験イベントを通し、「地層処分について初めて知った」「もっと学びたい」など、地層処分への関心喚起が図られた。



### ■深地層研究所親子見学会(親子サマーツアー)

1. 日本原子力研究開発機構 瑞浪超深地層研究所 (8/4, 20) (参加者)40名  
・親子で地下300mの研究施設を見学することで、この問題を考える機会となり、参加した保護者からは、大変満足30%・ある程度満足65%、子供からは、すごく興味を持った70%・やや興味を持った30%、と一定の評価をいただいた。



# 新しい勉強会支援事業の概要

- 1 募集 (1) 募集期間および募集团体数 : 年度を通じて50団体を募集(2015/8/12から募集開始)  
(2) 募集方法 :
  - ・ホームページ、SNS、メルマガ等による情報提供
  - ・商工団体、自治体・経済団体へのリーフレット配布
  - ・シンポジウム、ワークショップ等でのPR など
- 2 選定方法 (1) 下記の選定基準により、応募受付の都度選定
  - ・地層処分事業への理解を深めようとする活動であること
  - ・営利を目的とした活動ではないこと
  - ・実施報告書を期限内に提出できること
  - ・1団体あたりの参加人数は5名以上であること
- 3 支援内容 (1) 活動期間: 活動開始～2016年2月(2016年3月以降も次年度事業にて継続実施)  
(2) 支援額: 1回の応募につき、1団体100万円(税込)を上限とする  
(3) 実施内容: あらかじめ用意されたメニューより選択 (カフェテリア方式)  
[メニュー例]
  - ・勉強会、講演会  
(NUMOから講師派遣、大学・研究機関から専門家招聘)
  - ・地層処分関連施設の見学  
(幌延・瑞浪など研究施設、六ヶ所・東海村サイクル施設)
  - ・地層処分を契機とした地域振興検討  
(まちづくりビジョン調査、地域プランナー勉強会、六ヶ所・東海村など先進地見学)
  - ・地域での情報共有ツールの作成、配布 (パンフレット、チラシ、DVD、等)
  - ・地域での意見交換会  
(NUMOとの意見交換会、ファシリテーターの招聘)

※募集团体数、支援内容、選定基準等については、状況を踏まえ、適宜改訂。